

# 横浜市福祉サービス第三者評価 評価結果総括表

事業所名	社会福祉法人 清正会 まきが原愛児園
報告書作成日	2006年1月23日 (評価に要した期間4.5ヶ月)
評価機関	社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会 横浜生活あんしんセンター

## 評価方法

自己評価方法 (実施期間:17年9月2日~17年10月7日)	各クラス毎に職員が話し合い自己評価に取り組んだ。さらにリーダー保育士3人が中心になり、協議・検討を重ね、全体を集約した。
評価調査員による評価方法 (実施日:17年11月16日)	評価調査員(2名)による現地視察や書類確認、面接ヒアリング調査(園長、副園長、リーダー保育士3人)を行った。 また、職員(ベテラン・新人・非常勤)にも1対1の職員ヒアリングを行った。
利用者家族アンケート実施方法 (実施期間:17年9月5日~17年9月30日)	全利用者147名の保護者・家族を対象とし、まきが原愛児園と評価機関(市社協横浜生活あんしんセンター)の連名でアンケート依頼文を連絡帳に挟み込んで配布し、その3~4日後に本アンケートを同様の方法で手渡し、約1ヶ月の回答期間を設け、匿名で評価機関に返送してもらった。
利用者本人調査方法 (実施日:17年11月2日)	園児147名のうち、予め園側にリストアップを依頼した中から10名(全園児の6.8%)を対象に、評価調査員2名が保育観察(0~4歳児4名)、本人聴き取り調査(5~6歳児6名)を行った。

## 評価結果についての講評

### 【施設の特徴】

社会福祉法人清正会が経営する「まきが原愛児園」は、横浜市の副都心の一つにも位置づけられる相模鉄道線二俣川駅から徒歩 15 分ほどの住宅地にあります。付近には万騎が原小学校、万騎が原中学校のほか、同一（系列）法人の特別養護老人ホーム、地域ケアプラザ、幼稚園もあり、様々な世代との交流が可能な環境が整っています。さらに、施設から徒歩 5 分圏内のところに大池こども自然公園もあり、自然環境に恵まれた立地条件です。

施設の歴史は古く、相模鉄道の団地造成以降、居住した住民からの要望をきっかけに昭和 42 年に開園しました。「心身ともに明るく健康な身体を育成する」「体育指導・プール指導を通してけじめと忍耐の大切さを知る」「音感指導を通して豊かな人間性、自主性、協調性を培う」という具体的な保育方針を掲げ、保育サービスを展開しています。

産休明けの乳児保育からサービスの対象とし、通常の保育に加え、長時間保育、時間延長サービスなども行っています。保育内容の中でも特にプール指導、体育指導等は専門講師による保育活動とするなど、力を入れています。

同一（系列）法人の高齢者施設、幼稚園などとの交流が活発に行われているのも大きな特色です。核家族が多く、兄弟姉妹が少ない利用者の生活状況を考慮し、年間行事に他施設入所者との異世代交流会を設けて保育活動に反映しています。さらに「トイレットトレーニング」がスムーズであることから布オムツを使用する」等、発達課題に明確な方針を打ち出していることも特徴の一つです。

### 【特に優れていると思われる点】

#### ① 「水泳指導・音感指導を通した、豊かな心と身体づくり」

- 専門指導員の導入による積極的な水泳指導や体育指導が、3 歳児の秋から 6 歳の卒園まで週 1 回行われています。温水プールでは水になれることを目標とし、集団活動で行うことで“けじめや忍耐”を学び、心と身体を鍛えています。
- 音感指導の一環として、大きな声で歌う楽しさが、0 歳児から 1 日の流れ（朝の挨拶、昼食時、お帰りの時）の中で自然に身につくよう試みられています。リトミック指導により音と身体を通してリズム感や表現力を養っています。また、いろいろな楽器に触れることで演奏の楽しさを身につけ、5・6 歳児は中学校の運動会でマーチングバンドも披露しており、豊かな情操教育を開花させています。
- 「豊かな心と身体づくり」の基本は、裸足保育や活発な園庭遊び、積極的な屋外活動にも表れています。お天気の日に繰り広げられる園庭での遊びは、車型の乗用玩具や園庭に設置された大型遊具など、さまざまな物を利用して、生き生きと自由に身体を動かす活動であり、集団遊びも展開されています。さらに、9ヶ所に及ぶ遠近・大小の公園への散歩、「新幹線の見える場所」など地域探検（散策）も含めた足腰・心身を豊かにする取り組みが行われています。

#### ② 「活発な他年齢・異世代との相互交流」

- 隣接する同一法人の特別養護老人ホームや地域ケアプラザとの交流が盛んに行われています。今昔交流会、あじさいをテーマにした創作活動を行う「あじさい祭り」、ハイキングなど、年 10 回以上にわたる交流がもたれ、核家族の子どもが高齢者世代と触れ合う大切な機会となっています。これらの取り組みを通して、園児には高齢者への思いやりや尊敬の気持を育て、一方高齢者には喜びや生きがいを与えています。さらに、交流によってお手玉など、昔ながらの伝承遊びも体験し、日常の保育活動に活かされています。
- 保育方針の一つである水泳指導は隣接特別養護老人ホームの温水プールが利用されています。また、同ホームの畑では、利用者や園児による「野菜づくり」が行われています。法人の各施設が合同で開催する「夏祭り」や「バザー」などもあり、法人のスケールメリットを活かした取り組みを行っています。
- さらに、近隣小学校の作品展への参加、中学校運動会でのマーチングバンドの披露などの園児側の参加のみにとどまらず、小・中学生ボランティアを受け入れるなど、地域の小・中学校との双方向の交流を積極的に展開しています。

### ③「職員間の風通しの良さによる保育への姿勢や考え方の共有」

- 職員体制は、園長・副園長等幹部職員と各クラス保育士をつなぐ存在として3人の「リーダー保育士」が大きな役割を果たしています。園としての方針を具体的な保育実践につなげるとともに、現場での意見を吸い上げるクッション役となるなど、職員間のコミュニケーションが円滑に行われる要因となっています。中堅・新人・非常勤職員にそれぞれ行った職員ヒアリングでも、職員間のコミュニケーションの良さがうかがわれました。
- 園では健康づくりへの取り組みの1つとして「裸足保育」の実践や「オムツが外れる時期が早く、保護者が洗濯時に便の様子で子どもの健康状態を把握できる」として「布オムツの励行」を行っています。「布オムツ」を、自分の子育てで自ら実践する保育士がいるなど、園の保育に対する考え方が職員に浸透しています。さらにコミュニケーションの良さを活かし、それらが日常的に、職員間で確認・共有されています。

### 【特に改善や工夫などを期待したい点】

#### ①「保護者が要望を打ち出しやすい仕組みづくりを！」

- 現在、第三者委員が設置され氏名を掲示していますが、保護者が直接第三者委員に連絡するための情報が少ないように思われます。保護者がより、要望を打ち出しやすくするためには、第三者委員の氏名を園玄関に掲示するのみでなく、連絡先なども含めた情報を提供する、あるいは第三者委員以外の苦情受付窓口についても広く周知するなど、保護者が園を通さずに直接三者委員に連絡できる体制を確立することが必要だと考えます。
- 保護者との交流のため、保護者参加の行事設定に多くの工夫が見られますが、保護者アンケートでは「就労状況を考慮した行事設定を行ってほしい」という声も複数上がっています。行事設定や重要事項の決定について、事前にアンケートを行うなどの手法で、より多くの保護者の意向を反映できる仕組み作りを期待します。

#### ②「法人のスケールメリットを活かした地域施設との連携による子育て支援を」

- 現在、地域子育てサークルへの園庭・プール開放や備品貸出等が行われていますが、保育園の専門性を活かした子育て相談等の展開には至っていません。平成17年10月に新設された相談室を活用し、子育て相談を展開したい意向を持っていますので、今後地域での社会的役割・使命をより果たす意味でも、子育てニーズに応える支援サービスの提供を期待します。
- 隣接の同一法人地域ケアプラザで行われている子育て相談に園の保育士を派遣するなど、これまで築き上げた同一（系列）法人施設（地域ケアプラザ、特別養護老人ホーム、幼稚園など）との有機的な連携を足がかりとして地域の子育て支援に貢献される方法も有効だと考えます。法人のスケールメリットを生かし、職員交流による勉強会、研修を実施するなど地域の子育てニーズ把握のための試みをされてみてはいかがでしょうか。

#### ③「人材育成への計画的な取り組みを」



- 平成17年度後期から研修計画を作成する取り組みをされていますが、引き続き計画的な人材育成を期待します。例えば、園内でのケースカンファレンスの実施や、スーパーバイザー育成研修へのリーダー保育士の派遣などによって、一層の保育技術向上が見込めるものと考えます。
- 職員ヒアリングにおいても、園長、副園長、リーダー保育士という指揮命令系統の明確さや職員間のコミュニケーションの良さが上げられました。引き続き、職員のモチベーションを維持するために、職員個々の役割期待水準の明確化と目標管理による業務遂行・評価の仕組みづくりに取り組むことを期待します。



# 評価機関による評価 まきが原愛児園



3つ：高い水準にある、2つ：一定の水準にある、1つ：改善すべき点がある

## 評価領域 I 利用者本人の尊重

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>I-1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育方針には「豊かな人間性」「自主性」「協調性」といった利用者(子ども)本人を尊重する文言が盛り込まれている。</li> <li>・保育方針は施設内に掲示し、非常勤を含む全職員にプリントを配り、把握・理解を図っているが、全職員が保育方針を具体的に把握・理解するまでには至っていない。</li> <li>・保育計画、指導計画では保育方針に基づいて水泳指導、音感指導、裸足保育が具体的に盛り込まれており、日常の保育は保育方針を反映した内容となっている。</li> <li>・平成17年度秋の遠足では事前に保護者のアンケートをとった上で実施するなど一定の配慮が試みられているものの、家族アンケートの結果等では、年間行事に対する意見要望が複数みられ、必ずしも保護者の就労状況を考慮した保育計画の策定までには至っていない。</li> <li>・子どもの意見（意向）を尊重することを月1回の職員会議で確認しており、子どもへの声かけについて職員相互のチェックも行われている。さらに、子どもの意思や希望を年間指導計画や月案・週案等の見直しに活かしている。</li> </ul>
<p>I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新入園児については入園決定後、保護者の要望に応じて随時見学、面接に応じている。子どもを同伴した場合には遊んでいる様子などを保育士が観察している。</li> <li>・入園時に保護者から提出される児童票、健康調査票、長時間保育申込書等の書類で子どもの課題を把握している。記録は職員室ロッカーに一括して管理され、非常勤職員を含む全職員が必要に応じて随時閲覧できる。</li> <li>・新入園児は心理的よりどころとなるおしゃぶり、タオルケット、毛布等の持ち込みができる。</li> <li>・在園児とのバランスをとり、その場に合わせて対応できるように、新入園児の主担当保育者は決めていない。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新入園児、在園児ともに保護者との連絡帳は一日の様子が詳細に記されており、保護者からの意見・要望も書き込まれている。連絡帳以外にも送迎時のやりとりや希望に応じて行われる面接で保護者の意向を汲み取っており、指導計画や保育内容に反映させている。</li> </ul>
<p>I-3 快適な施設環境の確保</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルで決められた回数よりも頻繁に清掃を行い、保育室内は清潔である。温度、湿度、陽光の調節も適切に行われ、快適な状態に保たれている。</li> <li>・0歳児クラスの保育室には沐浴設備が完備されているほか、乳児の保育室にもシャワーが設置され、最低一日1回、夏場は使用の度に清掃を行っている。</li> <li>・トイレは24時間換気とピューラックス（消毒液）による消毒が行われているがやや臭気が残っている場所もあった。</li> <li>・低年齢児の保育室内は間仕切りやコーナーが設置されておらず、必ずしも小集団保育に適した場所の確保までには至っていない。</li> <li>・ランチルーム、プレイルーム等が異年齢交流の場になっている。</li> </ul>
<p>I-4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・0歳児の個別計画書は作成されている。また、それ以外の年齢でも特別な課題のある子どもについては、詳細な記録を個別のノートに記載しているが、指導計画作成までには至っていない。</li> <li>・保護者とは連絡帳を通じて頻繁に意見交換があり、ならし保育の時間数や離乳食への移行時期等、個々の子どもの発達に応じた保育を行うために活用されている。</li> <li>・児童票や緊急カード（緊急時連絡先記入文書）等は所定の書式があり、職員室ロッカーに保管され、非常勤を含む全職員が閲覧可能である。</li> <li>・個々の子どもの発達課題を非常勤を含む全職員が共有するまでには至っていない。</li> </ul>

I-5 保育上、特に配慮を要する  
子どもへの取り組み





- ・配慮の必要な子どもについて職員会議での報告はあるが、ケース会議や勉強会が持たれるところまでには至っていない。
- ・障害のある子どもに対して保護者、関係機関とのやりとりを記録した個別ノートが作成されている。しかし、それをもとにした指導計画作成までには至っていない。
- ・アレルギー疾患がある場合は、献立表に除去食品、代替食品をわかりやすく印を付けて保護者に知らせる、保護者・調理師・担任の打合せの場を設ける、他の子どもと変わらない盛り付けをする等の工夫をしている。
- ・全職員がアレルギー疾患を理解するための勉強会等を持つまでには至っていない。
- ・外国籍の子どもの文化的背景を事例に応じて子どもの素朴な疑問に答える形で説明し、理解を促している。
- ・配慮の必要な子どもについての記録（関係機関とのやり取り、かかりつけ医連絡先、医師診断書・指示書等）はファイリングされ、全職員が随時閲覧できるようになっている。


I-6 苦情解決体制



- ・第三者委員や苦情受付担当者が決められ、玄関に掲示されている。しかし、連絡先の表記がないため、保護者が第三者委員に直接苦情を申し立てることはできない。
- ・第三者委員は学期毎に園を訪れ、園の様子を観察したり、意見交換を行っている。また、園に直接寄せられた大きな要望・苦情などの報告もされている。
- ・第三者委員以外の苦情解決窓口（かながわ福祉サービス運営適正化委員会等）についてのビラ・ポスターなどは保護者の目に付く場所には設置されていない。
- ・職員に配布される業務マニュアルには関係機関（児童相談所、区福祉保健センター、嘱託医等）の連絡先が明記されている。
- ・保護者に対する意見箱が置かれ活用されているほか、懇談会等で保護者からの苦情・要望を吸い上げる機会を設けている。
- ・寄せられた苦情・要望は職員会議で周知された後、一定の書式で記録保管されている。

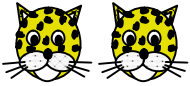
## 評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅱ－１ 保育内容【遊び】</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋外遊び等で子どもが自由に遊ぶ時間が設けられている。園庭には、滑り台、鉄棒、砂場などのほか、電車などカラフルな大型遊具が置かれ、小集団で遊べる場所も設けられている。</li> <li>・園内には異年齢交流を念頭においたプレイルームが設置され、各種のおもちゃや絵本が自由に取り出せる。</li> <li>・散歩で見た風景から「わたしの好きな街」をテーマにした創作活動を行うなど、地域を知る活動を保育に取り入れている。</li> <li>・隣接する同一法人経営の高齢者施設の入所者と野菜の栽培を行ったり、天気のよい時は積極的に散歩にでかけるなど、地域や自然に親しむ保育内容を展開している。</li> <li>・製作活動に必要な材料は揃えられているが、子どもが自由に取り出して使えるまでには至っていない。</li> <li>・保育士は適切な言葉かけで各年齢の子どもに対応している。子どもの表情も打ち解けており、利用者本人調査からも子どもたちが保育士に信頼を寄せている様子がうかがえた。</li> <li>・4～5 歳児は、年間を通して専門家指導による週 1 回の体育指導・水泳指導が行われ、3 歳児も 10 月すぎに水泳指導が始まる。ルールや運動能力にあった遊びや運動を提供し、積極的な健康増進を図っている。</li> </ul>
<p>Ⅱ－１ 保育内容【生活】</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3～5 歳児はおかわりを自分で盛り付けている。年に 1 回はバイキング形式の食事を取り入れたり、隣接の高齢者施設と交流を目的とした食事会を実施するなど食事に関心を持つ行事が行われている。</li> <li>・17 年度から食育担当の保育士を決め、食育のマニュアル作りや子どもたちが「食」に興味を持つような活動を始めている。</li> <li>・ランチルームには、その日の献立に用いた食材の絵が子どもにもわかりやすく「三色食品群」に分けて貼られている。給食当番の園児たちが前に出て「いただきます」の歌をみんなで唱和し、楽しく食事する雰囲気作りがなされている。ランチルームでは異年齢児との交流もできる。</li> <li>・保育士は子どもたちに適切な声かけを行い、子どもたちは自分のペースで給食を摂っているが、食べ終わらない子どもは結果的にランチルームに残ってしまう場面もみられた。</li> <li>・献立は隔週で同じ副食が提供されていることが多く、季節の旬の食材や果物など季節感のある献立がやや少ない。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食は外部業者に委託しており、調理担当者が定期的に子どもの喫食状況を観察したり、職員と献立の打合せの改善を行うまでには至っていない。</li> <li>・玄関に乳児用・幼児用の給食のサンプルを置いているほか、希望する保護者には、誕生会でお祝い食を試食してもらい、アンケートも取っている。</li> <li>・年長児は小学校生活に向けたリズム作りに配慮し4月から午睡を行っていないが、子どもの体調、要望に合わせて柔軟に対応している。</li> <li>・0歳児はSIDS（乳幼児突然死症候群）に対する対策として仰向けに寝かせるほか、30分毎の呼吸チェックを行い、記録も取っている。</li> <li>・排泄については、マニュアルが作成してあり、子どものリズムに合わせたオムツ取替えやトイレ指導を工夫し、保護者と連携をとりながらトイレトレーニングを行っている。保護者アンケートでも満足度が高かった。</li> <li>・「オムツの外れる時期が早く、保護者が洗濯する時に便の様子で健康状態が把握できる」として布オムツを積極的に導入している。ただし、布オムツアレルギーがある子どもや保護者の事情で布オムツ使用が難しい場合は、紙おむつの使用も可能である。</li> </ul>
<p>Ⅱ－2 健康管理・衛生管理・安全管理〔健康管理〕</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者記入の健康調査票や医師診断書、指示書を通して、既往症や平熱、食事、排便、睡眠、体質など一人ひとりの子どもの健康状況を把握している。記録は職員室の管理棚（鍵付き）に保管され、全職員がいつでも閲覧できる。</li> <li>・歯磨き指導は歯ブラシの誤用による事故を防ぐため、4歳児以下は食後のうがいのみを行っている。5歳児は歯科検診時、染め出し（磨き残し確認）も行っているが日常の保育の中で個別に指導するまでには至っていない。</li> <li>・身体計測、内科検診、尿検査、ぎょう虫検査、視聴覚検診、歯科検診の結果は保護者に配布し、確認印押印の上、返却してもらっている。</li> <li>・嘱託医に随時相談しているが、定期的に相談の機会を持つ等の取り組みまでには至っていない。</li> <li>・感染症マニュアルのほかに伝染病ノートを作成し、園内での伝染病の発生から終息までの経過を記録している。</li> <li>・感染症についての情報を収集するために嘱託医と連携を取り、職員を感染症の研修に派遣している。また、感染症に関する書籍を購入し、職員が誰でも自由に閲覧できるように置いてある。</li> </ul>



Ⅱ-2 健康管理・衛生管理・安全管理〔衛生管理〕



- ・衛生管理マニュアルが作成され、内容を全職員が共有しているが、定期的な見直しや研修を行うまでには至っていない。
- ・マニュアルに定められた実施内容に加え、職員が常に衛生状態をチェックし、保育室をはじめ、廊下・トイレ・階段などの清掃を行っている。

Ⅱ-2 健康管理・衛生管理・安全管理〔安全管理〕




- ・地震による火災を想定して同一（系列）法人4施設合同の避難訓練を実施している。月1回の避難訓練、年1回の4施設合同防災訓練では、消防署の指導もある。また非常食の炊き出し訓練も行っている。
- ・救急救命法の研修には職員が順次参加し、また、園内でも研修を行っている。
- ・緊急連絡先は整理されているが、誰がどういう形で連絡を取るかという具体的な連絡体制について、文書化するまでには至っていない。
- ・子どものケガについては擦り傷など、軽症も連絡帳に記入した上、送迎時に保護者へ口頭でも伝えている。職員間の引継ぎノートにも記録されている。
- ・防犯カメラ・自動センサー等を設置し、夜間は同一法人内の警備員が巡回している。職員数の少ない時間帯は外部からの出入りをオートロック制御し、門の施錠も保護者に協力してもらい徹底している。



Ⅱ-3 人権の尊重




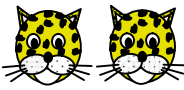

- ・保育士は子どもたちに適切な声かけを行い、自分でできるまで待つ等、子どものペースを尊重している様子が随所で見られた。子どもたちは、各々自分のリズムで作業を進め、のびのびとした表情を見せていた。
- ・「常に保育士の目が届くように」との考え方を前提に保育室内がレイアウトされており、子どもが他者の目を意識せず過ごせるコーナーやスペースは設置していない。
- ・個人情報保護の取り扱いについてのガイドラインは作成されていないが、散歩時は子どもの名札をはずす、大きな声で名前を呼ばないなど、日常の保育における個人情報への配慮は行っている。
- ・個別の記録などの個人情報は事務所の施錠可能なロッカーに保管されているが、早朝や夜の延長保育の保育士も見ることができるよう、ロッカーは施錠していない。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待に対して、児童相談所の児童福祉司を窓口にした連携体制がとられている。発見時の対応もマニュアル化されている。</li> <li>・性差の固定観念を植え付けないよう、園服、通園靴など男女共通のものを使用し、順番やグループ分け名簿なども男女別にしていない。</li> </ul>
<p>Ⅱ－４ 保護者との交流・連携</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園時に配布する入園要項や園のしおりに保育方針を掲載し、詳細については入園説明会で説明している。</li> <li>・園だよりに掲載の「クラス月間目標」は保育方針を具体化した内容になっており、保護者に対して保育方針の理解を促がしている。</li> <li>・保護者に対しては送迎時に一日の様子を口頭で伝えている。さらに、子どもたち全員に連絡帳を用意し、一日の様子を具体的に記載している。クラス懇談会（年1回）や希望者には個人面談なども実施している。</li> <li>・保護者の相談には空き保育室やランチルームを相談室に活用するほか、平成17年10月に新たに相談室も設置した。</li> <li>・保護者からの相談内容は「苦情等状況報告書」に記録し、苦情処理規定に基づく事後のフォローも行っている。</li> <li>・月1回の園だより・クラスだよりを発行しており、年度末には全園児の様子を総集編として掲載している。</li> <li>・保護者会の話し合いに保育室を開放し、その間の一時保育も受け入れている。</li> <li>・保護者会の要請により、保護者会総会に園長、職員が出席している。保護者が園児のために出し物を行う「お楽しみ会」は保護者と職員が協力して実施し、さらに年度末にクラス役員と反省会を行っている。</li> </ul>



## 評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同一法人内の施設協賛バザーや夏祭りなどに職員が参加しているが、地域の子育てニーズを把握するための取り組みまでには至っていない。</li> <li>・地域子育て支援団体との交流はあるが、検討会や勉強会を協働実施するまでには至っていない。</li> <li>・地域の子育てサークルに園庭・プールの開放を行っている。また、バザー・交流会や運動会などを通して地域の子育てサークル、幼児、近隣小学生達と交流を行っている。</li> <li>・園に隣接する同一法人の地域ケアプラザでは、子育て支援事業を行っているが、園が積極的に参画するまでには至っていない。</li> </ul> <p>(改善・提案事項 等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、同一法人内の地域ケアプラザが行う子育て相談事業に企画段階から参加するなど、スケールメリットを活かした連携により、地域の子育てニーズを把握・共有するとともに、子育て支援の実践的な取り組みにつなげていくことを期待します。</li> </ul>
<p>Ⅲ－２ 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏祭り、バザー等の行事情報と参加案内状を地域住民に配布しているが、子育てに関する具体的な情報提供や、育児相談は行うまでには至っていない。平成17年10月に相談室を新設したことを機に、園独自の取り組みを開始したい意向である。</li> <li>・園施設外壁の掲示板や、隣接する同一法人経営の地域ケアプラザ等が発行した広報誌に園の行事予定を掲載して情報提供に努めている。</li> <li>・関係機関リストを作成し、全職員がいつでも閲覧できる体制を整えている。</li> </ul>

## 評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅳ-1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の行事をポスター等で告知し、招待状も地域住民に配布している。</li> <li>・地域団体の要望に応じ園庭、プール開放、行事への物品貸出を行っている。</li> <li>・隣接する同一法人（系列）経営の施設全体（幼稚園、特別養護老人ホーム、地域ケアプラザ等）で「夏祭り」や「バザー」を行うほか、同高齢者施設の入所者や地域ケアプラザの利用者と年に10回以上の交流会を開き、積極的な交流を行っている。高齢者から昔の生活や遊びについて教えてもらい、保育活動に取り入れるなどの取り組みも行っている。</li> <li>・隣接する同系列法人経営の幼稚園の園児たちとは、合同で行う一泊保育や毎月のブレッター（ブレッターというワークブックを使い、話を聴く態度等を学ばせる取り組み）、周辺小・中学校行事への合同参加を通して、交流保育を行っている。</li> <li>・周辺小・中学校とは園児たちが作品展や運動会等の行事へ参加するほか、中学生の体験学習・ボランティアの受け入れ等、双方向の交流を行っている。</li> </ul>
<p>Ⅳ-2 サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園のパンフレット、園前の掲示板、地域情報誌、町内会広報誌、ケーブルテレビ取材などで園の情報を提供している。</li> <li>・横浜市のホームページでは、保育内容や延長保育、おやつ代等の料金情報を提供しているが、園独自の積極的な情報公開の取り組みまでには至っていない。</li> <li>・利用希望者の問い合わせや見学希望には随時対応し、普段の園生活や雰囲気や伝わるように配慮している。</li> </ul>
<p>Ⅳ-3 ボランティア・実習生の受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア、実習生の受け入れに関してはマニュアルが用意され、担当者も決められている。ボランティアには、個人情報保護なども含めた説明を、実習生にはオリエンテーションを行い、最終日には反省会を含め、意見交換の機会を設けている。</li> <li>・ボランティアや実習生は保護者にも園だよりを通じて、受け入れを伝えている。また、子どもたちにも、「朝の会」を通じて伝えている。</li> <li>・ボランティアや実習生の反省や感想文は提出され、ファイリングされているが、園運営に反映されるような意見が寄せられた事はなく、意見を園運営に反映させる具体的な仕組みづくりまでには至っていない。</li> </ul>

## 評価領域V 人材育成・援助技術の向上




評価分類	評価の理由（コメント）
<p>V-1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員配置は経験年数を考慮し、新卒者だけでなく、経験のある非常勤職員も雇用している。</li> <li>・人材育成計画書、指針を策定するまでには至っていない。年1回、職員の身上書をもとに園長が職員と面接しているが、次年度目標等については口頭で確認されており、記録化されるまでには至っていない。</li> <li>・OJT（業務を通じての育成指導）、OFF-JT（職務を離れての研修）、SDS（自己啓発を援助する制度）の各研修に積極的に職員が参加している。研修計画表も、平成17年度後期から作成された。</li> <li>・食育の研修を受けた職員が食育委員会を作って、給食を楽しむマニュアルを作成する等、研修内容が保育に反映されている。</li> <li>・研修成果を評価し、次回研修に活かすという仕組みまでには至っていない。</li> <li>・リーダー保育士3人が非常勤職員の指導にあたっており、必要に応じて他の職員もアドバイスしている。非常勤職員からは職員間のコミュニケーションの良さをあげる声も聞かれた。</li> </ul>
<p>V-2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス内容の見直しや自己評価を行う具体的な仕組みの確立までには至っていない。</li> <li>・職員会議で随時、事例についての報告・検討はあるものの、事例検討やテーマ毎の勉強会開催までには至っていない。</li> <li>・定例化はしていないが、必要に応じ地域療育センター、児童相談所、保育関連機関・団体の情報提供を受けている。</li> <li>・外部の専門家などから保育技術の評価を受ける機会を設けるまでには至っていない。</li> </ul> <p>(改善・提案事項 等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の自己評価やケースカンファレンスの開催など、具体的なスキル向上の仕組みを検討されてはいかがでしょうか。経験年数や役割毎に保育技術の達成目標を決め、個々の職員の目標設定の目安にすることで、一層充実した保育が期待できると思います。</li> </ul>

V-3 職員のモチベーションの維持



- ・職員個々に期待される役割や水準を明文化するまでには至っていない。
- ・リーダー保育士3人が研修計画の作成や職員配置、さらに副園長と共に第三者評価受審への取り組みの中心的な役割を担うなど、積極的に園運営に参加している。園側も各職員の裁量を認め、必要に応じてアドバイスをを行っている。
- ・業務改善提案の募集や職員アンケートを実施するまでには至っていない。
- ・年度末に職員作成の身上書を元にした園長との面接が実施されている。

## 評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>VI-1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園長自身が職員に対し、朝礼、職員会議を通じて法人の社会的責任を周知しているが、守るべき法、規範、倫理等を明文化し、周知徹底を図るまでには至っていない。</li> <li>・法人での重要決定事項は職員会議で職員に伝えられている。その際の資料作成にも職員が関わっている。</li> <li>・法人全体でのゴミ一括収集や省エネ電力など、環境への配慮を進めている。</li> <li>・園児もボランティア活動を行い、公園の清掃を行っている。</li> <li>・施設の運営方針に環境配慮の考え方を明確に盛り込むまでには至っていない。</li> </ul>
<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園の基本方針が園内に掲示されているほか、朝会、職員会議を通じ、園長から職員に周知されている。しかし、定期的の方針を確認する機会を設けるところまでは至っていない。</li> <li>・懇談会や行事など保護者が集まる機会を最大限に利用して、保護者に重要事項決定の説明を行っている。しかし、施設の改修やサービス内容の変更等、園としての重要な意思決定の際に、保護者と十分な意見交換は行うまでには至っていない。</li> <li>・スーパーバイザー（職員の人材育成を指導する人）養成の計画は現在作成されておらず、主任クラスの職員がスーパービジョン（スーパーバイザーと職員間における対人援助法）を前提とした研修に参加する機会を設けるまでには至っていない。</li> <li>・リーダー保育士が個々の職員の体調、勤務状況などに配慮している。</li> <li>・リーダー保育士が職員の意見を吸い上げ、園長、副園長に伝えていくという有機的な流れもできている。</li> </ul>
<p>VI-3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園長が区社会福祉協議会や全国保育協議会等から事業運営に関わる外部環境（制度の動向など）の情報収集にあたっている。</li> <li>・施設運営に関わる重要事項決定の定期的な会議を行うまでには至っていないが、運営面での変更内容については職員会議を通じて職員に周知している。</li> <li>・同一法人内にある他施設の動向等を見ながら、今後の運営方針を検討する方針であり、現段階で中長期的な計画を策定するまでには至っていない。</li> <li>・経理面については会計事務所に依頼し、透明性の確保に努めている。</li> </ul>

# 家族アンケート取りまとめシート(保育)まきが原愛児園

## 結果の特徴

### 【調査対象】

まきが原愛児園の全利用者 147 名の保護者・家族にアンケートを実施した。

### 【調査方法】

事前にまきが原愛児園と評価機関の連名のアンケート依頼文を連絡帳に挟み込んでもらい、その2~3日後にアンケートを同じ方法で手渡してもらった。アンケートは約1ヶ月の回答期間(平成17年9月初旬~9月30日)を設け、直接評価機関に返送してもらった。

### 【回答があった利用者及び回答者の概要】

利用者総数 / 147 名  
調査対象総数 / 147 家族・保護者  
有効回答数 / 75 通  
利用者総数に対する回答者割合 (%) / 51 % (実家族・保護者総数に対して 61%)

### 【回答があった利用者の内訳】

回答者のクラス	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	無回答
	10.7%	13.3%	20.0%	22.7%	28.0%	5.3%	0.0%

(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になる。)

### 【利用者家族アンケート全体のコメント】

- 『総合の満足度』では、「満足」「どちらかといえば満足」を合わせて94.6%がプラスの回答をしており、何らかの要望などはあったとしても回答者の概ねが満足していることがうかがわれた。
- 「満足」「どちらかといえば満足」を合わせると90%以上になる満足度の高い項目は、『園の遊びについて(お子さんが満足しているかなど)』や『自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動について』、『遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについて』『家族と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めるなど、園でのおむつはずしへの取り組みについて』『お子さんの体調への気配りについて』『園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供について』などがある。  
『遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについて』では園が取り組んでいる体育指導やプール指導、裸足保育などが、また、『家族と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めるなど、園でのおむつはずしへの取り組みについて』では、布オムツへの取り組みなどが評価されたものと思われる。
- 『開所時間内であれば、柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には』『不満や要望を気軽に言えるかどうか』では、「どちらかといえば不満」「不満」をあわせると40%以上になり、回答者の満足度が低い項目となった。『開所時間内であれば、柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には』では個別の記載欄でも、お迎え時間が過ぎた場合の「料金」についての意見・要望が多く聴かれた。また、『不満や要望を気軽に言えるかどうか』では、「人による」という声もあがっていた。



## 調査結果

### ■保育園の基本理念や基本方針について

#### 問1

(%は小数第1位までの表示とし、合計の小数第1位を四捨五入すると100%にな

あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか。	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
(人)	5	47	15	6	0	2
(%)	6.7%	62.7%	20.0%	8.0%	0.0%	2.7%

よく知っている、まあ知っているのうち



あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。	共感できる	まあ共感できる	どちらともいえない	あまり共感できない	共感できない	無回答
	17	28	6	1	0	0
	32.7%	53.8%	11.5%	1.9%	0.0%	0.0%

### ■保育園のサービス内容について

#### 問2 入園する時の状況について

	1.満足	2.どちらかといえば満足	3.どちらかといえば不満	4.不満	5.その他	6.無回答
見学の受け入れについては	21	32	4	1	16	1
	28.0%	42.7%	5.3%	1.3%	21.3%	1.3%
	その他： <ul style="list-style-type: none"> <li>・見学していない(同様の回答が11人)</li> <li>・見学がある事を知らなかった。</li> <li>・見学会は、なかったと思います。</li> <li>・どのようにしているのか知らないのです。</li> <li>・何とも思わなかった。</li> <li>・わからない。</li> </ul>					

入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	16	31	14	6	7	1
	21.3%	41.3%	18.7%	8.0%	9.3%	1.3%
	その他：・途中入園なのでその辺はあまりわからなかった。(同様の回答が2人) ・特に説明はなかった。 ・経験がなし。 ・わからない。(同様の回答が2人)					
入園時の面接については	16	32	3	1	20	3
	21.3%	42.7%	4.0%	1.3%	26.7%	4.0%
	その他：・面接はしなかった。(同様の回答が12人) ・面接は区役所のみ(行政のみ)(同様の回答が2人) ・特に記憶にない。 ・区福祉保健センターで行いました。 ・わからない。(同様の回答が2人)					
お子さんの様子や育成歴などを聞く対応には	27	38	3	3	3	1
	36.0%	50.7%	4.0%	4.0%	4.0%	1.3%
	その他：・面接はしていないと思う。 ・あまり、きかれなかった。 ・特に記憶にない。					
園の目標や方針についての説明には	15	43	10	1	6	0
	20.0%	57.3%	13.3%	1.3%	8.0%	0.0%
	その他：・特に説明はなかった。(同様の回答が2人) ・園の目標は、貼り出されているのを見た。 ・特に記憶にない。 ・わからない。(同様の回答が2人)					
保育園での1日の過ごし方についての説明には	29	38	7	1	0	0
	38.7%	50.7%	9.3%	1.3%	0.0%	0.0%
	その他：					
入園後に食い違いがなかったかなども含め、費用やきまりに関する説明について	16	30	20	1	8	0
	21.3%	40.0%	26.7%	1.3%	10.7%	0.0%
	その他：・説明がわかりづらいところもある。 ・入園後に費用が初めて区役所から連絡あった。					

### 問3 保育園に関する年間の計画について

	1.満足	2.どちらかといえば満足	3.どちらかといえば不満	4.不満	5.その他	6.無回答
年間の保育や行事についての説明には	23	38	12	2	0	0
	30.7%	50.7%	16.0%	2.7%	0.0%	0.0%
	その他:					
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	10	34	19	5	7	0
	13.3%	45.3%	25.3%	6.7%	9.3%	0.0%
	その他: ・まだ、そこまで参加していないのでわからない。 ・特に要望などないので。 ・よくわからない。(同様の回答が4人)					

### 問4 日常の保育内容について

#### 「遊び」について

	1.満足	2.どちらかといえば満足	3.どちらかといえば不満	4.不満	5.その他	6.無回答
園の遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	33	35	6	1	0	0
	44.0%	46.7%	8.0%	1.3%	0.0%	0.0%
	その他:					
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	31	35	5	1	3	0
	41.3%	46.7%	6.7%	1.3%	4.0%	0.0%
	その他: ・不明。 ・実際に使用しているおもちゃを見たことがないのでわからない。 ・新しい本を入れて、子どもが自由に読めるようにしてほしい。					
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	44	24	3	0	4	0
	58.7%	32.0%	4.0%	0.0%	5.3%	0.0%
	その他: ・入ったばかりなので、まだ、ほとんどない。(同様の回答が3人)					

遊びを通じた友だちとの関わりや、 保育士との関係などについては	39	28	6	1	1	0
	52.0%	37.3%	8.0%	1.3%	1.3%	0.0%
	その他：・先生の呼び方が名字より名前の方が子ども達が親しみやすいのでは・・・。					
遊びを通じたお子さんの健康づくり への取り組みについては	32	39	4	0	0	0
	42.7%	52.0%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他：					

## 「生活」について

	1.満足	2.どちらかといえ ば満足	3.どちらかといえ ば不満	4.不満	5.その他	6.無回答
給食のメニューの充実については	22	37	6	5	5	0
	29.3%	49.3%	8.0%	6.7%	6.7%	0.0%
	その他：・委託業者に変わった為、量など融通がきかない時もある。 (同様の回答4名)					
お子さんが給食を楽しんでいるか については	32	35	2	0	6	0
	42.7%	46.7%	2.7%	0.0%	8.0%	0.0%
	その他：・わからない。(同様の回答が3人) ・どのくらい食べているのかわからないので。					
昼寝や休憩がお子さんの状況に 応じて対応されているかなどに ついては	28	36	8	1	2	0
	37.3%	48.0%	10.7%	1.3%	2.7%	0.0%
	その他：・特に報告が無いので、わかりません。					
家庭と協力し、お子さんの成長に 合わせて柔軟に進めるなど、園 でのおむつはずしへの取組みに ついては	42	28	1	0	3	1
	56.0%	37.3%	1.3%	0.0%	4.0%	1.3%
	その他：・布オムツでなくてもよいと思う。(同様の回答が2人) ・まだ、なし。 ・布オムツの持ち込みなので、毎日の洗濯は働いている者にとって大変です。レンタルが利用出来れば、ありがたい。					
お子さんの体調への気配りに ついては	35	33	5	1	1	0
	46.7%	44.0%	6.7%	1.3%	1.3%	0.0%
	その他：・熱だけが目安ではないはず。(「どちらかといえば満足」に○)					

保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	31	28	10	2	4	0
	41.3%	37.3%	13.3%	2.7%	5.3%	0.0%
	その他：・説明はとにかく必ずあります。（「どちらかといえば満足」に○） ・まだ無いのでわからない。（同様の回答が2人）					

#### 問5 保育園の快適さや安全対策などについて

	1.満足	2.どちらかといえば満足	3.どちらかといえば不満	4.不満	5.その他	6.無回答
園舎、園庭などの施設については	19	35	16	3	2	0
	25.3%	46.7%	21.3%	4.0%	2.7%	0.0%
	その他：・人数の割りに部屋が狭い感じがする。（同様の回答が2人） ・さらに不審者対策をお願いします。 ・駐車場が少なくて少々不便さを感じます。					
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	20	33	19	2	1	0
	26.7%	44.0%	25.3%	2.7%	1.3%	0.0%
	その他：・施設運営の規則上、保育士の数はたりているとは思いますが、もっと保育士が多いと良いと思う。 ・園児の数が多いと思う。					
外部からの不審者侵入に対する備えについては	21	40	9	3	2	0
	28.0%	53.3%	12.0%	4.0%	2.7%	0.0%
	その他：・できれば、警備員みたいな人がいると安心。 ・今のご時世、アラームや男子保育士を充実させてほしい。女性だけでは守れないと思う。					
衛生管理や感染症対策については	25	39	11	0	0	0
	33.3%	52.0%	14.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他：・おやつの前に消毒液の対応より水洗いが良い。					

**問6 園と保護者との連携・交流について**

	1.満足	2.どちらかといえば満足	3.どちらかといえば不満	4.不満	5.その他	6.無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	16	38	16	1	3	1
	21.3%	50.7%	21.3%	1.3%	4.0%	1.3%
	その他：・まだしていない。(同様の回答2人) ・土曜日に行って頂けるとよい。					
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	33	37	4	0	1	0
	44.0%	49.3%	5.3%	0.0%	1.3%	0.0%
	その他：・紙による掲示板ではなく、PC上の掲示版等を活用してほしい。					
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	23	27	20	4	1	0
	30.7%	36.0%	26.7%	5.3%	1.3%	0.0%
	その他：					
送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明については	23	34	13	3	2	0
	30.7%	45.3%	17.3%	4.0%	2.7%	0.0%
	その他					
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	23	38	8	3	2	1
	30.7%	50.7%	10.7%	4.0%	2.7%	1.3%
	その他：・プリントだけではわかりづらいPCを活用してほしい。 (「どちらかといえば不満」に○) ・経験がないため、どうなっているか不明。					
保護者からの相談事への対応には	26	36	7	3	2	1
	34.7%	48.0%	9.3%	4.0%	2.7%	1.3%
	その他：・していない。 ・どちらともいえない。					
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	14	25	16	15	5	0
	18.7%	33.3%	21.3%	20.0%	6.7%	0.0%
	その他：・手続きがわずらわしい。(提出書類等) ・迎えが遅くなるのが無いのでわからない。 ・時間内に行っている。料金は30分まで850円だが、15分までは400円とかなると、ありがたい。					

## 問7 職員の対応について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	34	33	4	1	3	0
	45.3%	44.0%	5.3%	1.3%	4.0%	0.0%
	その他：・その保育士の質によると思う。 ・ほとんどの先生は大切にしていると思う。					
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	35	32	7	1	0	0
	46.7%	42.7%	9.3%	1.3%	0.0%	0.0%
	その他：・行事が楽しみ。(「どちらかといえば満足」に○)					
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	19	33	4	2	14	3
	25.3%	44.0%	5.3%	2.7%	18.7%	4.0%
	その他：・給食に別メニューがある。(「どちらかといえば満足」に○) ・わからない。(同様の回答が10人)					
不満や要望を気軽に言えるかどうかについては	11	25	24	8	6	1
	14.7%	33.3%	32.0%	10.7%	8.0%	1.3%
	その他：・言った事がないので判断できない。(同様の回答が2人) ・在年数が長い保育士には言えるが、入れ替わりもあるのであまり知らない保育士もいる。 ・ほとんどの先生には言える。 ・先生による。					
不満や要望への対応については	11	27	22	5	9	1
	14.7%	36.0%	29.3%	6.7%	12.0%	1.3%
	その他：・わからない。(同様の回答が4人) ・保育士により対応がまちまち。 ・ケースバイケースなのでなんともいえない。 ・要望があったのか、なかったのかもわからないため対応しているかどうかともわからない。					

## 問8 保育園の総合的評価

	1.満足	2.どちらかといえば満足	3.どちらかといえば不満	4.不満	5.無回答
総合満足度は	16	55	4	0	0
	21.3%	73.3%	5.3%	0.0%	0.0%

# 利用者本人調査取りまとめシート(まきが原愛児園)

## 結果の特徴

### 【利用者対象】

利用者 147 名のうち、予め施設側にリストアップを依頼した 10 名（全園児の 6.8%）を調査対象とした。〔内訳：0 歳児 1 名、2 歳児 1 名、3 歳児 1 名、4 歳児 1 名、5 歳児 3 名、6 歳児 3 名〕

〔調査対象者の概要と施設全体の対比〕

	回答者年齢	人数	内 訳	園全体の人数
保育観察	0～2 歳	2 名	男児 1 名・女児 1 名	127 名
	3～4 歳	2 名	男児 2 名	
聴き取り調査	5～6 歳	6 名	男児 3 名・女児 3 名	20 名

### 【調査方法】

#### 《保 育 観 察》

調査員 2 名が 0～4 歳児の 4 名を保育の現場で施設側から提供された利用者の情報シートを参考に遊びや食事・排泄・午睡など保育状況を観察した。

#### 《本人聴き取り調査》

5～6 歳児の 6 名に対しては、食事や遊び・排泄等の 17 項目について聴き取り調査を実施した。食事については給食を共にしながら、また遊びについても活動中の子どもたちの脇で聴き取りを行うなど、子どもが話しやすい雰囲気に配慮した。

### 【保育観察の結果】

#### 《全体のコメント》

○0～2 歳児は、生活や遊びの中で「オムツを取り替えてもらって気持ちよさそうにする」「絵が完成して手をたたいて喜ぶ」「周りの子どもや先生の歓声に身体を弾ませて喜ぶ」などの場面がみられ、保育園生活を十分に楽しんでいる様子が感じられた。

○3 歳児はプールに行く途中ですれ違った隣接の幼稚園児と元気に声をかけあい、交流を深めていた。水着を前後逆にはいてしまう失敗があっても、それを囃したてる周りの子どもたちの声に笑顔で応じ、水との触れ合いをのびのびと楽しんでいる場面がみられた。

○4 歳児は、糞虫づくりの工作に根気よく取り組み、自分の世界に没頭する楽しさを味わっていた。

#### 《項目別の特徴》

<遊び> 外遊びでは、どの子ども園庭の遊具を使い、生き生きとした表情で遊んでいた。友達同士でまねっこしあって笑うなど、友達と関わり、共感しながら十分に楽しんでいる姿が見られた。プールでのびのび水と触れ合ったり、工作で作品づくりに没頭するなど園児達の活動はそれぞれだが、存分に遊びや活動を楽しんでいる様子がみられた。



**<食事>** 食事のペースがゆっくりな子も最後まで自分のペースでしっかり食べ、満足している様子がうかがわれた。「この鰯はおかわりできるんだ!」「お茶もおかわりできるんだ!」と給食に対する会話や流行のゲームの話題で盛り上がり、楽しい雰囲気ですべてを食べていた。

**<排泄>** おむつ交換では、仰向けに寝るのを嫌がって泣くシーンも見られたが、替えてもらった後は気持ちよさそうでご機嫌になっていた。

**<午睡>** 0~1歳児には眠る時、専属に保育士がつき、子どもの頭や身体に静かに触れる等スキンシップを図りながら寝かせていた。ほとんどの子どもがすぐに午睡に入って気持ちよさそうであった。

**<清潔>** お絵かき後の手洗いでは、時間のかかる子もいたが石鹸をつけて丁寧に洗っていた。着替えでも脱いだ衣服をきちんとたたみ、うまくいけば笑顔を見せていた。

## **[本人聴き取り調査の結果]**

### **《全体のコメント》**

○明るくハキハキと率直に答えてくれる子が多かった。

○聴き取り結果からは、子どもたちが保育園での生活を楽しんでいる様子がうかがわれた。なかでも遊びに関しては、回答者のほとんどが「保育園での遊びは楽しい!」と答えており、保育園での好きな遊びをいくつもあげてくれた。

○「先生は話をちゃんと聞いてくれるか」、「先生はやさしいか」、「困った時は担任の先生以外でも助けてくれるか」等の問いにほとんどの子どもが「はい」と答え、保育士を信頼している様子が感じられた。名前の呼び方は、「呼び捨て」と答えた子どもが半数以上いた。

### **《項目別の特徴》**

**<遊び>** 回答者のほとんどが「保育園での遊びは楽しい!」と答えており、好きな遊びでは、園が取り組んでいる伝承遊びの「お手玉」をはじめ、「ブロック」、「造形」等が複数の子どもからあがった。

**<食事>** 半数以上の子どもが「食事時間は楽しみ!」と答えている。なかには、「給食の前のお話が好き!」との答えもあった。また、半数の子どもが「給食を残してもよい」と答えたが、「残しちゃだめだから、残したことがない。」との答えも若干聴かれた。

**<排泄>** 全員が「行きたいときにトイレに行ける」と答えた。一方で、おもらした時に、「コラッ!と言われた」との答えも若干あった。また、自分でできるので「手伝いはらない」との答えも幾人かいた。

**<清潔・着替え>** 「汗や泥んこで汚れた時、きれいにしてくれるか?」という問いに、「自分でできる」と答えた子どもを除く全員が「はい」と答えている。熱が出たとき・けがをしたときの対応もほぼ全員が、「先生がやさしくしてくれる」と答えている。

**<権利>** ほとんどの子どもが友達とケンカをしたときなどに「先生が話を聞いてくれる」と答えている。午睡は5~6歳児は行っていなかったが、半数の子どもは昼寝があった時にも「寝なくても大丈夫だった」との答えだった。名前の呼び方は呼び捨ての子どもが半数以上いた。

**<職員対応>** 「先生はやさしい」「担任以外の先生も助けてくれる」という回答が大半であった。「園長先生と遊んだことがある」と答えた子どもは数人であった。

## 事業者からの意見(コメント)

第三者評価受審にあたり、信頼していた関係者からの声掛けを頂きましたので、その内容を勉強する事もままならぬ中、不安を抱きながら施設内評価委員会を筆頭に活動を開始しました。人材の育成や、全職員が共通の目的を持って一線の上に立ち、初めて一人一人の目線の違いや、職員間でお互いを見抜く力が見出された点、掲示されている物やマニュアル等の文章で表現されている事柄が職員全体一人一人に理解しきれていないという点など、この機会に理解する事が出来ました。今後大きく飛躍・推進していける事の糸口が見出された感じを受け止めました。